

自己評価報告書

平成23年3月22日現在

機関番号：14101

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2012

課題番号：20520160

研究課題名（和文） 丹羽文雄記念室および田村泰次郎文庫の総合的調査

研究課題名（英文） The general study about the memory room of NIWA Fumio and the library of TAMURA Taijiro

研究代表者

尾西 康充 (ONISHI Yasumitsu)

三重大学・人文学部・教授

研究者番号：70274032

研究分野：日本近代文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：丹羽文雄、田村泰次郎

1. 研究計画の概要

四日市市立博物館には、平成17年に逝去した丹羽文雄の資料が孫・丹羽多聞氏から寄贈され、平成19年に丹羽文雄記念室が設けられた。丹羽文雄記念室には自筆原稿をはじめとして浄土真宗関係の蔵書などが所蔵され、それらの分析は丹羽文雄の文学を研究するためには欠かせない作業であるが、まだ着手されていない。他方、三重県立図書館には作家田村泰次郎に関する資料が9,000点保存されている。これらはみな、田村泰次郎が亡くなった後、平成5年に妻・美好氏から三重県立図書館に寄贈されたものである。本研究は丹羽文雄記念室および田村泰次郎文庫に所蔵されている資料類を整理、解説、活字化する基礎的作業をふまえ、それらの文学史的・文化史的意義を明らかにするものである。

2. 研究の進捗状況

三重県立図書館所蔵の田村泰次郎文庫に関しては、すでに『田村泰次郎文庫資料目録』が同館司書によって作成されている。段ボール箱153箱に収められて寄贈された資料の内訳は、特別資料2589点と図書資料5514点である。現在、その3分の2に当たる点数に目を通し、それら内容を確認して転記した。

他方、四日市市立博物館にある丹羽文雄資料にもとづいて、『丹羽文雄文芸事典』（半田美永皇學館大学教授・秦昌弘四日市市立博物館学芸員編、和泉書院）を製作している。丹羽文雄に関する伝記的事項をはじめ、書誌、作品紹介、テーマ分析などの各項目を、三重県内の研究者が分担執筆した。「丹羽文雄と戦争」という小論を担当し、実証的な方法で

論述した。同書はまもなく刊行予定である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。国内外への出張を順調にこなし、資料を計画通り収集できているから。

4. 今後の研究の推進方策

丹羽文雄および田村泰次郎の個別作家研究を深めるために、年2回の定期研究会を開催し、三重県内外の研究者と議論を積み重ね、本研究に関する報告書の作成準備を進めたい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計0件）

〔学会発表〕（計1件）

- ① 尾西康充「丹羽文雄と戦争」（三重近代文学研究会、平成23年3月19日、三重大学）